

令和8年(1月～2月)労働災害の発生状況

※労働者死傷病報告(休業4日以上)の死傷災害により作成

※()内の数値は死亡者数(内数)を表す

※ 新型コロナウイルス感染症のり患者数を除く

(1)業種別の労働災害発生状況(対前年比)

【表1 業種別の労働災害発生状況】

尼崎労働基準監督署

業 種	令和8年(1月～2月)			前 年 同 期			前 年 比 較			
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	()	死傷者数 (人)	構成比 (%)	()	増減数 (人)	増減率 (%)	()	
全 産 業	47	100.0%	()	33 (1)	100.0%	(100.0%)	14 (-1)	42.4%	(-100.0%)	
第一・二次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 含む)	26	55.3%	()	20 (1)	60.6%	(100.0%)	6 (-1)	30.0%	(-100.0%)	
製 造 業	12	25.5%	()	8	24.2%	()	4 ()	50.0%	(-)	
鉱 業			()			()	()	-	(-)	
建 設 業	7	14.9%	()	2	6.1%	()	5 ()	250.0%	(-)	
運 輸 交 通 業	7	14.9%	()	10 (1)	30.3%	(100.0%)	-3 (-1)	-30.0%	(-100.0%)	
貨 物 取 扱 業			()			()	()	-	(-)	
農 林 業			()			()	()	-	(-)	
畜 産 ・ 水 産 業			()			()	()	-	(-)	
第三次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 除く)	21	44.7%	()	13	39.4%	()	8 ()	61.5%	(-)	
商 業	卸 売 業		()	1	3.0%	()	-1 ()	-100.0%	(-)	
	小 売 業	2	4.3%	()	4	12.1%	()	-2 ()	-50.0%	(-)
	上記以外の商業	1	2.1%	()		()	1 ()	-	(-)	
	計	3	6.4%	()	5	15.2%	()	-2 ()	-40.0%	(-)
通 信 業	1	2.1%	()			()	1 ()	-	(-)	
保 健 衛 生 業	医 療 保 健 業	4	8.5%	()	1	3.0%	()	3 ()	300.0%	(-)
	社 会 福 祉 施 設	3	6.4%	()	3	9.1%	()	()	(-)	
	上記以外の保健衛生業			()		()	()	-	(-)	
	計	7	14.9%	()	4	12.1%	()	3 ()	75.0%	(-)
接 客 娯 楽 業	飲 食 店	3	6.4%	()				3 ()	-	(-)
	ゴ ル フ 場			()				()	-	(-)
	上記以外の接客娯楽業	1	2.1%	()	1	3.0%	()	()	(-)	
	計	4	8.5%	()	1	3.0%	()	3 ()	300.0%	(-)
清 掃 ・ と 畜 業	ビルメンテナンス業	1	2.1%	()	1	3.0%	()	()	(-)	
	廃棄物処理業	2	4.3%	()	1	3.0%	()	1 ()	100.0%	(-)
	上記以外の清掃・と畜業	1	2.1%	()				1 ()	-	(-)
	計	4	8.5%	()	2	6.1%	()	2 ()	100.0%	(-)
そ の 他 の 事 業	警 備 業	1	2.1%	()				1 ()	-	(-)
	上記以外のその他の事業			()				()	-	(-)
	計	1	2.1%	()				1 ()	-	(-)
金 融 広 告 業	1	2.1%	()	1	3.0%	()	()	(-)		
映 画 演 劇 業			()			()	()	-	(-)	
教 育 研 究 業			()			()	()	-	(-)	
官 公 署			()			()	()	-	(-)	
(陸 上 貨 物 運 送 業)	5	10.6%		10 (1)	30.3%	100.0%	-5 (-1)	75.0%	(-)	

注 第三次産業は通常、非工業的業種に運輸交通業、貨物取扱業を加えたものをいいますが、ここでは、非工業的業種の一〇業種(商業、通信業、保健衛生業、接客娯楽業、清掃・と畜業、その他の事業、金融広告業、映画演劇業、教育研究業、官公署)を第三次産業と呼んでいます。